



環境公共 通信

“地域づくりの新しいかたち” 環境公共



第12号 平成24年1月
発行／環境公共推進会議事務局
〒030-8570 青森市長島1-1-1
青森県農林水産部農村整備課内
TEL 017(734)9545 FAX 017(734)8153

■最近の話題

攻めの農林水産業 推進大会において 環境公共 をPR

去る10月31日(月)、青森県総合社会福祉センターにおいて、平成23年度「攻めの農林水産業」推進大会が開催され、農林水産業の関係者や消費者など約300人が参加しました。

推進大会では、県内において「攻め」の姿勢で生産や加工・販売に取り組み、収益性アップにチャレンジする優れた団体等の表彰のほか、農業・農村の持続的発展と活性化に関する基調講演とパネルディスカッションが行われました。



青山副知事による開会挨拶

環境公共 のPR



ブース前でポージングする決め手くん

備課と県内のコンクリート会社が共同で開発した環境保全型コンクリート二次製品水路「ハイ!アガール」で、水路に転落したカエルなどが実際にはい上がる様子などをパソコンの動画※で見てくださいました。

※動画は「環境公共」HPにてご覧になれます



水槽内に敷き詰められたホタテガイ貝殻の中で生息するナマコ

会場のロビーでは、ホッキ貝の資源管理や共同操業による収益性の向上等により最優秀賞を受賞した百石町漁業協同組合小型船部会による漁具の展示や、優秀賞を受賞した(有)ANNEKKOによる嶽きみの加工品等が展示されました。

「環境公共」のPRブースでは、県内の優良な取組事例の様子などをパネルやリーフレットで紹介したほか、県農村整



県産スギ間伐材を加工したコースター

また、県産スギ間伐材で作ったデザイン入りコースターを展示し、プレゼントしたほか、水槽でホタテガイ貝殻の中で育つナマコを紹介し、本県ならではの地域資源を活用した豊かな海づくりをPRしました。

■「環境公共」事例紹介

五戸ブドロク地区（三戸郡五戸町）

～ 地域の公共牧場をみんなで育む ～

1 地区の概要

青森県五戸町は、「あおり倉石牛」の産地として知られており、その生産拡大とブランド力向上を目指して、町営ブドロク放牧場を整備中です。

主な整備内容は、肉用牛繁殖雌牛の周年預託施設の新設、放牧草地の造成・改良などです。

これにより、肉用牛生産者は、春から秋の放牧預託に加え、冬期間も引き続き周年預託施設へ預託することで、個人で牛舎等への新規投資を行わずに規模拡大が可能となります。



ブドロク放牧場

2 活動内容



県産スギ間伐材を利用した木柵

ブドロク放牧場は、国道4号から新郷村方面へ向かう農道沿いにあり、一般通行者が景観の美しさから思わず車を止め、草を喰む牛の姿を眺めていることが度々あります。

このため、牧場管理者や五戸畜産農協などから成る本地区の環境公共推進協議会では、地域の公共牧場としてブドロク放牧場の管理を共同で行い、景観の維持向上に努めていくこととし、牧場の整備においても、できるだけ現状を変えずに、ひいんりん庇陰林^{*}を適度に配置するなど、環境を保全する計画内容と

しました。また、協議会は春の牧柵点検、放牧地への牛の入牧・退牧作業、放牧牛の衛生対策などを行っているほか、県産スギの間伐材を利用して、道路に面した牧柵の整備を行っています。

^{*}牛が暑熱時の日光や雨露を避けるための林

3 今後の取組

ブドロク放牧場の整備は、平成24年度で完了する予定ですが、五戸ブドロク地区環境公共推進協議会では、牧場の景観を維持していく活動などを充実させ、ブドロク放牧場と「あおり倉石牛」の結びつきを広く消費者にアピールすることで、ブランド力の向上を目指していくこととしています。

“ブドロク”の名前の由来

観音が現れたという霊場たる梵語の補陀落（ふだらく）のふは「ぶ」に、だは「ど」に転化した、観音信仰に起因して名付けられた信仰地名。（「倉石村誌」から抜粋）



倉石牛祭り